

新年役員会

一月二十二日新年役員会が開催されました。

住職挨拶、総代長・佐久間清氏挨拶、新任役員紹介、平成二十三年度行事報告、平成二十四年度行事予定、平成二十三年度護持費暫定決算報告(次号にて報告)、その他・授戒会について、終わって懇親会。

- 退任 柴 橋 宮村昭二氏
- 大川町 中山茂雄氏
- 就任 柴 橋 宮村晴久氏
- 大川町 中原敏雄氏

訃報

大川町 忠 五郎氏 ご逝去  
平成二十三年九月十七日享年八五歳  
長年世話役員として寺護持発展にご尽力くださいました。感謝を申し上げ、謹んでご冥福をお祈りいたします。

大般若会ご案内

六月二十日午前十時より  
大般若法要  
檀信徒先祖供養  
説教  
お斎

\*詳細は次号にて

瑞應寺だより(恭真)

愛媛県新居浜の瑞應寺に修行中の三男恭真のこと。

銀杏(瑞應寺報)一月号に年頭所感が掲載されていましてので紹介します。

『聖護寺にいた昨年を思い起こしてみますと、海外の僧侶の皆さまは口を揃えて「安居が嬉しい」と言い、生活に関係する人たち、食事、仏閣に至るまで感謝の意念を持っていました。「功の多少を計り、彼の来処を量る」そこから始まる本来の面目、安居の意味を理解したいと鳳山を登った僧侶は、今この時に立つ自分が授かっていた恵みを考えては有り難いと思つたのでした。

今冬、攝心や寒行托鉢もあり、体調管理、坐禅工夫することが要となつてきます。自分の身口意を仏さまの心に合わせ、調伏した中に真を保たせたいです。年頭の所感、まずは縁に感謝、尊い一時を生きています。二つの極端には近づかず、量を弁えて日を送りたいです。何よりも皆さまの健康を願つております。』

新潟県広蔵寺徒

首座 神田恭真

迦葉山だより(秀孝)

群馬県沼田の天狗のお寺、迦葉山龍華院で勉強中の二男秀孝のこと。

村上市平林・千眼寺(法類)の後任に決まりました。現任職は山本宗彦老師ですが、その後を継ぐことになり。五月中旬より種々手続きをふみ正式に入山します。



瑞應寺安居中、三男恭真  
現在は首座の任が終わり(2月15日解制)、住職檜崎通元老師のお付きをしている。



1月17日午前10時打ち出しにて三男恭真の首座法戦式が修行された。於瑞應寺  
法幢師 檜崎通元堂頭老師

仏事の知識

朱ローソクの使い方

曹洞宗では、葬儀後の開蓮忌法要に際し朱ローソクを灯します。朱ローソクは特に仏前結婚式、落慶法要、晋山式等のおめでたい法要儀式に用いますが、ご法事にも使用します。開蓮忌とは、死後三日目に行われる追善供養とされ、お葬式は死亡後、二日目か三日目に執行されるため、葬儀を終えた後引き続き勤められています。一番最初のご法事である開蓮忌を懇るにお勤めし、葬儀後、蓮の花咲く安楽浄土へ向かって旅立つことを願う、お祝いを込めたご法事です。また、それ以後、四十九日忌法要はあの世へご到着するおめでたい日であるから、朱を灯します。七回忌以降も使用しています。ご法事は亡き人の供養の為にありますが、本当は亡き人によって仏の教えに出会うご縁をいただいているとも言えます。仏法のご縁をいただける、「めでたい日」とも言えます。